



Cisco ゲートウェイの削除

この章では、データベースから削除するゲートウェイレコードを検索する方法について説明します。ゲートウェイのグループを削除するためのクエリフィルタを定義する必要があります。[ゲートウェイの削除 (Delete Gateways Configuration)]ウィンドウを使用して削除できるのは、Cisco VG200 および Cisco Catalyst 6000 のゲートウェイレコードだけです。

- [クエリを使用したシスコ ゲートウェイ レコードの削除 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ゲートウェイの削除関連のトピック \(3 ページ\)](#)

クエリを使用したシスコ ゲートウェイ レコードの削除

クエリを使用して、Cisco Unified Communications Manager から削除するゲートウェイレコードを特定できます。[ゲートウェイの削除 (Delete Gateway Configuration)]ウィンドウを使用して削除できるのは、Cisco VG200、VG202、VG204、VG224、VG310、VG320、VG350、VG410、VG420、VG450、ISR 4461 および Cisco Catalyst 6000 ゲートウェイのみです。



注意 削除アクションは不可逆です。削除したレコードを復元することはできません。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)]>[ゲートウェイ (Gateways)]>[ゲートウェイの削除 (Delete Gateways)]の順に選択します。

ステップ 2 [ゲートウェイの削除 (Delete Gateways where)] ドロップダウンリストから、次のオプションのいずれかを選択します。

- 名前
- 説明
- DN/ルート パターン
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

- [デバイスプール (Device Pool)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]

ステップ 3 2番目の [ゲートウェイの検索 (Find Gateways where)] ドロップダウンリストから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 4 3番目のドロップダウンリストで [表示 (Show)] を選択して、関連付けられたエンドポイントを表示します。

ステップ 5 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

ヒント データベースに登録されているすべてのゲートウェイを検索するには、検索テキストを何も入力せずに、[検索 (Find)] をクリックします。

さらにクエリを定義するには、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、[ステップ 2 \(1 ページ\)](#) ~ [ステップ 5 \(2 ページ\)](#) を繰り返します。

検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)]
- 説明
- [デバイス プール (Device Pool)]
- [ステータス (Status)]
- [IP アドレス (IP Address)]

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにゲートウェイを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 後でゲートウェイを削除する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 8 ゲートウェイレコードを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ 9 [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュール追加またはアクティブ化します。

注意 クエリ テキスト ボックスに何も情報を入力しない場合、システムはすべてのゲートウェイレコードを削除します。削除アクションは不可逆です。削除したレコードを復元することはできません。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[Cisco ゲートウェイの削除関連のトピック \(3 ページ\)](#)

Cisco ゲートウェイの削除関連のトピック

- [クエリを使用したシスコ ゲートウェイ レコードの削除 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのゲートウェイとポートの挿入](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [BAT ログ ファイル](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。